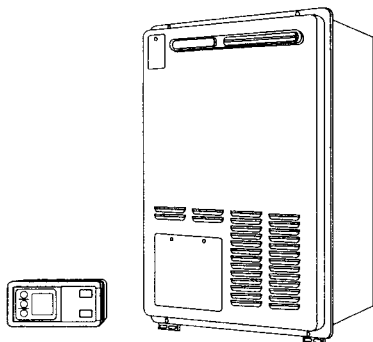


ガス給湯暖房機

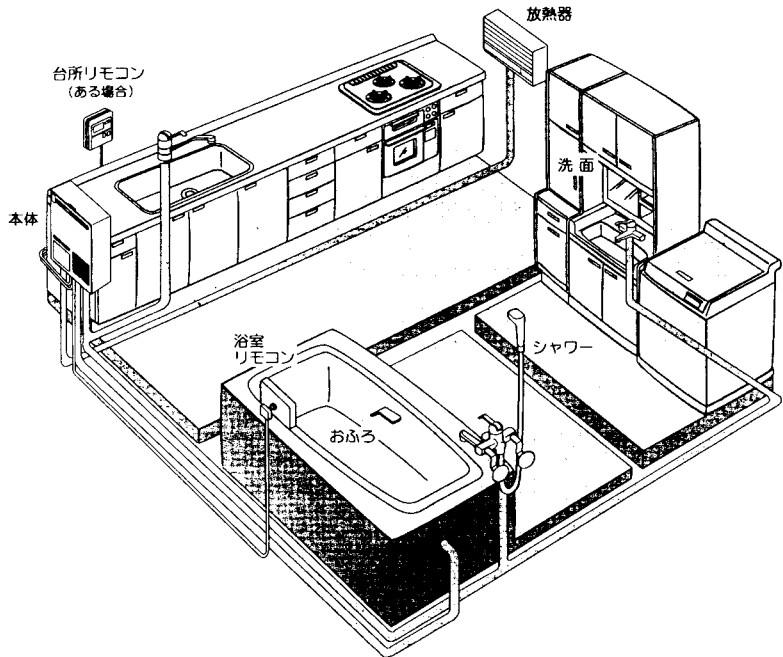
取扱説明書

品名		型式名	機能	設置方式
AT-368RSA-SWQ	44-645型	AT-368RSA-SWQ	2温度タイプ	屋外式
AT-368RSA ₂ -SWQ	44-646型	AT-368RSA-SWQ-F		
AT-368RSA ₁ -SWQ	44-647型	AT-368RSA-SWQ-G		
AT-368RSA ₄ -SWQ	44-648型	AT-368RSA-SWQ-C		
AT-368RSA ₈ -SWQ	44-649型	AT-368RSA-SWQ-E		
AT-368RSA-SW ₅ Q	—	AT-368RSA-SW ₅ Q		
AT-368RSA ₁ -SW ₅ Q	—	AT-368RSA-SW ₅ Q-G		



給湯・ふろ・暖房が同時に使える

- 適温・適量のお湯はりが完了すると自動消火するふろ自動運転。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房。
- 暖房水が少なくなると自動で足す自動補給機能付。
- 熱源機の不具合をエラーコードでお知らせします。



このたびはガス給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- 別添の保証書とともにこの「取扱説明書」を大切に保管してください。
- 来客者などが熱源機を使用されるときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはよりのガス会社にて再購入してください。

独立運転!

●本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。著しく熱源機の寿命が縮まります。

もくじ

必ずご確認ください

	ページ
●安全上のご注意	4
●使用上のお願	11

使いかた

	ページ
●早見表	12
●初めてお使いになる時	14
●お湯の出しかた	16
●お湯はりのしかた	18
●お湯はり予約のしかた	20
●お風呂の湯かげん調節	22
●シャワーの使いかた	23
●暖房のしかた	24
●日常の点検とお手入れ	25

必要なときにお読みください

	ページ
●故障かな?	27
●こんなときは	30
●凍結予防について	31
●各部のなまえ	35
●仕様	38
●アフターサービスについて	裏表紙

必ず
ご確認ください

すぐ
使いたいとき

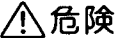

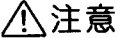
もし
必要なとき






安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

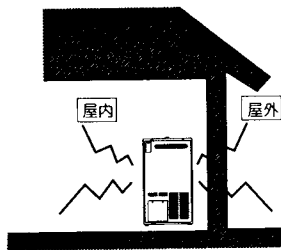
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険

設置工事時のご注意

■屋内に設置しない



燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

ガス漏れ時のご注意

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、窓や戸を全開にし、もよりのガス会社へ連絡する



ガス栓を閉める



窓や戸を全開にする



もよりのガス会社へ連絡する

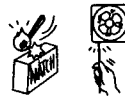


そのままにしておく、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたら電気器具のスイッチの「入・切」などはしない



火気禁止



引火し、爆発・火災の原因となります。

警告

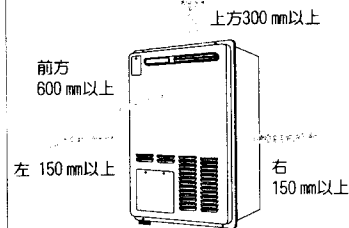
■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、運転スイッチを「切」にする



(旅行など、長期間使用しない場合は)凍結予防のため水抜きを行なう
(※32. 33ページ参照)

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す



上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

給湯・シャワー使用時のご注意

- シャワー使用時は、配管内の湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用する、また入浴時も湯温を確認する



確認を怠ると、やけどの原因となります。

- 熱湯と水との混合水栓では、必ず先に熱湯の栓を止める



水側を先に止めると配管内に熱い湯が残り、再出湯時熱い湯が出てやけどの原因となります。

- 混合水栓ではシャワーと蛇口との切り換えレバーは必ず定位まで回す



途中で止めると熱い湯が出て、やけどの原因となります。

- 混合水栓を使用している場合他の給湯栓を開けるとやけどの恐れがあります



やけど注意

急に熱い湯が出る場合があります。

- 配管内の熱い湯が出てしまうまで待ち、手のひらで湯温を確認したのち使用してください。
- 給湯・シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない



高温に設定されると熱湯によるやけどや、低温に設定されたりスイッチ「切」にされると冷水になりびっくりしてけがの原因となります。

- 熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する



正常に機器が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

- 必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

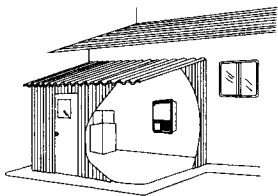


ガス給湯暖房機	
型式	ガス消費量
最大	kW
給湯	kg/L/h
給湯	kg/h
給湯	kg/h
電源	AC100V
電源	Hz
電源	W
製造年月(例:〇年×月製)を示します。	
〇〇〇〇〇〇E××月-〇〇〇〇1	

製造年月(例:〇年×月製)を示します。

他のガス種・電源を使用すると機器が正常に作動なくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

- 増改築などにより屋内状態にしない(換気などにより囲いをしない)



十分な給排気ができないため不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。



警告

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源プラグ

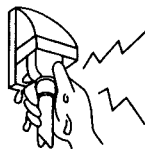
差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 電源プラグのほこりなどは定期的に取る



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない



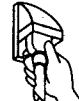
感電の原因となります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100 V 以外での使用はしない



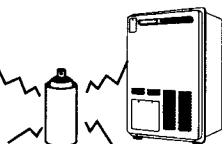
たと足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグをもって抜く



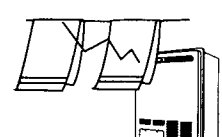
コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

- スプレー缶を給排気口(トップ)の前方に置かない、前方で使用しない



熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因となります。

- 給排気口(トップ)をおおわない



火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■電源コード・電源プラグを破損させるようなことはしない



傷んだり、加工したり、熱器具(高温部)に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

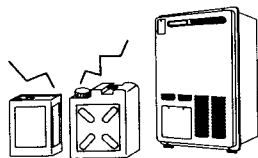
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

■子供を浴室内で遊ばせない、また浴槽の循環口付近に潜ったりしない



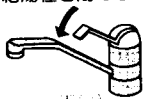
思わぬ事故の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない



火災の原因となります。

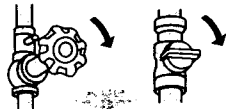
■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従って給湯栓を閉める



運転スイッチを「切」にする



給水元栓・ガス栓を閉める



お買い上げの販売店またはガス会社に連絡する

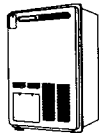


そのまましておくこと火災の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解・改造をしない(フロントカバーを外さない)



分解禁止

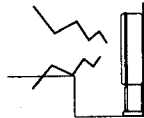


熱源機故障や火災の原因となります。

●販売店に依頼してください。

注意

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない(据置設置の場合)



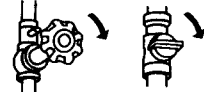
火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

●販売店にご相談ください。

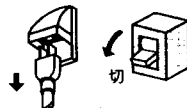
■点検・お手入れ時は、次の手順に従う



給水元栓・ガス栓を閉める



電源プラグを抜くまたはブレーカを「切」にする



熱源機が冷えてから行なう
(※25・26ページ)

上記手順に従わないと、やけどや熱源機故障の原因となります。

■給湯・シャワー・お湯はり・追いだし・温水暖房・浴室乾燥用として使用する



他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■凍結後再使用する際は、全ての給湯栓から水が出ることを確認し、熱源機および配管から水漏れのないことを確認する



水漏れによる床や壁などの損害は、お客様の御負担となります。

■熱源機内に長時間たまっていた水や、朝一番に使用のお湯は飲まない、調理に使わない



健康を損なう恐れがあります。(雑用水としてお使いください。)

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示の点灯・消灯を確かめる



熱源機の異常を早期に見えなくなります。

■アース接続されていることを確認する



漏電が生じた場合、感電の原因となります。

●アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

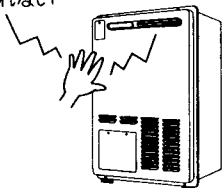
必ず
ご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

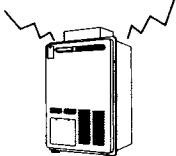
⚠ 注意

- 使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない



やけどの原因となります。

- 熱源機の上ののったり、物をのせたりしない



やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

- 車両・船舶への設置はしない



振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

- 浴そう内の循環口はタオルなどでふさがない



やけどや熱源機故障の原因となります。

- ソーラーシステム（太陽熱温水）に接続しない



高温水が出て、やけどや熱源機故障の原因となります。

- 床暖房の上に電気カーベットを敷かない



床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

- カーベット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない



温水パイプが破損し、温水が噴き出します。

- パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）



やけどの原因となります。

- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間すわったり寝そべったりしない



低温やけどの原因となります。

使用上のお願い

- 台所リモコンは直射日光、水しぶき、蒸気のかかる場所で使用しない、設置しない

水しぶきなどがかかると台所リモコン故障の原因となります。

- 浴室リモコンは直射日光の当たる場所で使用しない、設置しない

浴室リモコン故障の原因となります。

- 混合水栓を使用の場合ときどき水だけを流す、またサーモキシングバルブご使用時はリモコンの温度設定をバルブの温度設定より高め（3～5℃）にする

給水側の水が長い間流れないと、一瞬にごった湯（赤水など）が出る場合があります。

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤はそれらの注意書きをよく読んで熱源機に影響のないものを使用する

入浴剤・洗剤などによっては、熱源機故障の原因となる場合があります。

- この熱源機の付属品、補助用具以外は使用しない

熱源機故障の原因となります。

- 夏期などぬるめのお湯がでないときは湯量を多くして使う

水温が高いとき湯量を絞ると、設定温度より高くなる場合があります。

- 燃焼中、電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にして消火しない

熱源機故障の原因となります。

- 断水のときは、給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にする

そのままにしておくと熱源機故障の原因となります。

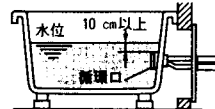
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しない

熱源機作動不良の原因となります。

- テレビやラジオとは1.5 m以上離す

上記の距離を保持しないと雑音の原因となります。

- 追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する



機器故障の原因となります。

- 混合水栓を使用の場合、出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水栓）を選ぶ

熱源機作動不良の原因となります。

- 停電のときは、給湯栓を閉める

燃焼が停止し、水になります。

- 使用後は運転スイッチを「切」にする

凍結し給湯管が破裂した場合や、子供がいたずらしたときお湯が出続ける場合があります。

- 24時間風呂には、使用しない

24時間風呂への対応はしていません。

必ず
ご確認ください

早見表

浴室リモコン



お湯を出す・・・P16

台所リモコン
(ある場合)



1 押す

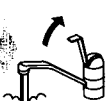


優先表示の確認

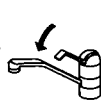
2 給湯温度を設定する



3 給湯栓を開ける



4 給湯栓を閉める



台所リモコン
(ある場合)



お好みの時間にお湯をはる・・・P20

①

1 押す



(P15)

2 現在時刻を合わせる



3 押す



4 押す



5 予約時刻を合わせる

(P20)

浴室リモコン



お風呂を熱くする・・・P22

1 押す



2 ふろ温度を設定する



浴室リモコン



お風呂を



浴室リモコン



お風呂にお湯をはる・・・P18

1 押す



2 ふろ湯量を設定する



3 ふろ温度を設定する



設定した湯量・温度をお選りすると止まり、その後4時間保温を続けます。

浴室リモコン



お風呂から呼ぶ

3 押す



予約時間にお湯はり完了するように運転を開始します。

お湯はりが終わると運転を停止します。(ブザーが鳴ります。)

1 押す



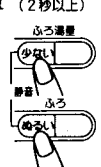
台所リモコン・浴室リモコン両方でブザーが鳴ります。

浴室リモコン

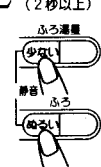


暖房の運転音を下げる・・・P24

1 [セット] 同時に押す (2秒以上)



2 [解除] 同時に押す (2秒以上)



るくする・・・P22

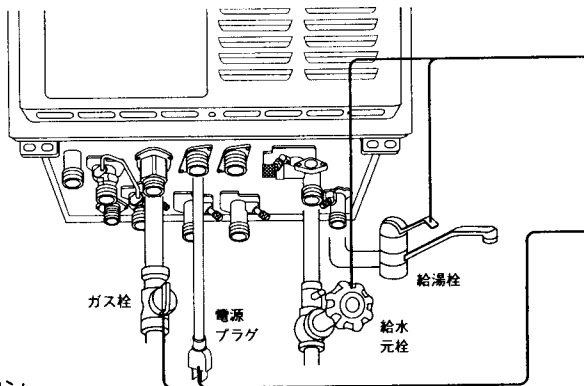
約10Lの水を
足すと止ま
ります。

すぐ
使いたいとき

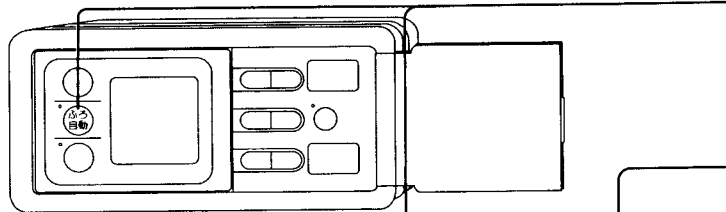


初めてお使いになるとき

本体

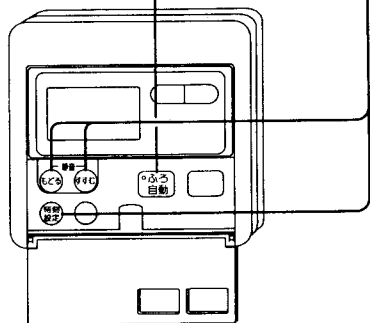


浴室リモコン



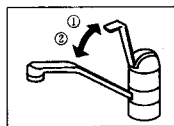
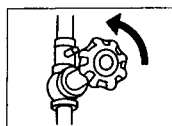
台所リモコン

(台所リモコンがある場合)



※混合水栓のレバーを上げた状態が、給湯栓「開」の場合で説明してあります。

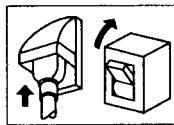
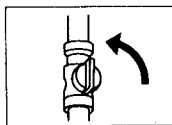
1 ■ 水の出ることを確かめる



給水元栓
給湯栓を開ける

①開けて水を出し、
②閉める。

2 ■ ガスの開栓と通電を確かめる



ガス栓を開け
電源プラグを差し込む
またはブレーカを「入」
にする

3 ■ おふろの湯が出ることを確かめる



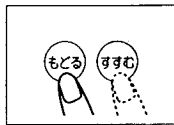
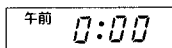
「おふろ自動」スイッチ
を押す

①浴そうに湯の出ることを確かめ、
②再度「おふろ自動」を押し、
湯を止める。

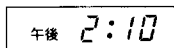
4 ■ 現在時刻を合わせる (台所リモコンがある場合)



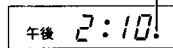
押す
「午前 0:00」が点滅。



「時」「分」を合わせ
例 午後 2時10分に合わせ。



押す
「●」が点滅。



お知らせ

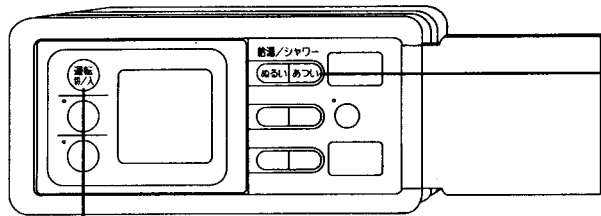
スイッチは、1回押すごとに1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

すく
いたいとき



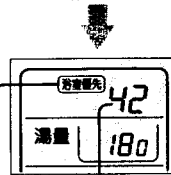
お湯の出しかた (台所・洗面所)

浴室リモコン



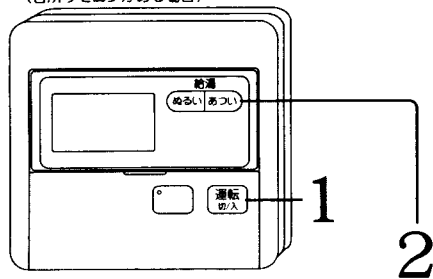
押す

- 画面が表示していることを確かめる。
- 優先表示が点灯していることを確かめる。



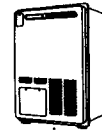
優先表示 前回の給湯温度 (←17ページ)

台所リモコン (台所リモコンがある場合)



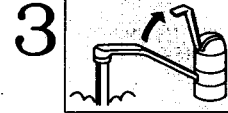
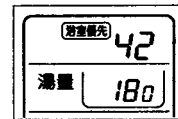
1

2



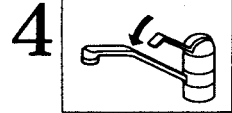
温度を設定する

- お湯の温度は約38~47℃の間と約60℃で設定できます。



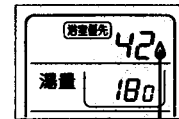
給湯栓を開ける

- 「」が点灯。



給湯栓を閉める

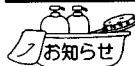
- 「」が消灯。



給湯燃焼表示

■ 2回目以降は

- 前回と同じ温度の湯が出ます。



お知らせ

- お湯はり中、給湯すると →おふろと同じ温度の湯がでます。
- 給湯栓を絞りすぎると →熱いお湯が出たり、消火することがあります。
- 運転スイッチ「切」の状態でも約10Wの電力を消費しています。
- 再度お湯を使用すると →お湯の量が変わることがあります。



お知らせ

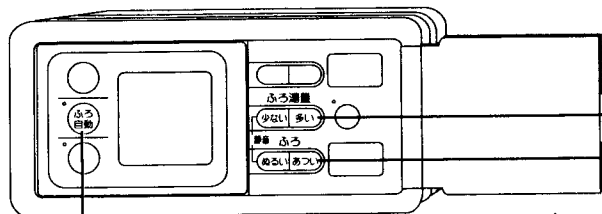
優先について (台所リモコンがある場合)

- 優先表示の出ている方のリモコンのみ、給湯温度を設定できます。
- 優先表示が満えているときは →浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは →押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

すぐ
使いたいとき

お湯はりのしかた

浴室リモコン



準備: ①おふろの排水栓を閉じ、
②浴そうのふたをしてお
いてください。

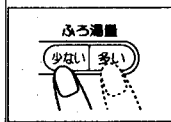
1



押す

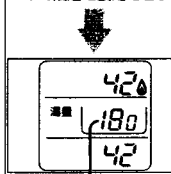
- ランプが点灯。
- 設定した湯量・温度になると自動的に消火レブザーでお知らせします。

2



ふろ湯量を設定
する

- 40~300 L(20 L間隔)・400・500 L
の16段階で設定できます。



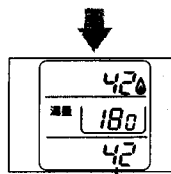
湯量表示

3



温度を設定する

- 約35℃~50℃の間で
設定できます。

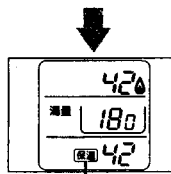


ふろ温度表示

4

お湯はりが終わると
4時間保温を
続けます

- ランプ・**保温** 点灯



保温表示

■ 沸かし直し

〈浴そうに残り湯が循環口より上まであるとき〉

- 同じ手順で設定した湯量・温度に沸きあげます。ただし湯量、湯温に多少のばらつきが出ます。また、沸きあげに多少時間がかかります。

〈浴そうに残り湯が循環口より下にあるとき〉

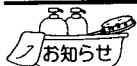
- お湯があふれる場合があります。設定湯量を少なくしてお湯はりしてください。

※ 次の場合には設定した湯量にならないことがあります

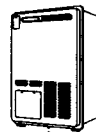
- 残り湯の温度が高い場合
- ふろ自動運転中に、お湯はり温度を変更した場合

■ 台所リモコンでもお湯はりできます (台所リモコンがある場合)

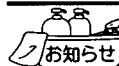
- 台所リモコンの **ふろ自動** を押す。(浴室リモコンに表示の湯量、温度になります。)



- お湯はり中は →リモコンの優先表示は消えます。
- お湯はり中は →水や空気が出る音が出ることがあります。異常ではありません。
- 洗い浴するとき →湯量を多くするとあふれることがあります。
- 足し湯するとき →ふろ自動スイッチを押して、適量で止めてください。(約10 Lで自動停止します。)



すく
使いたい

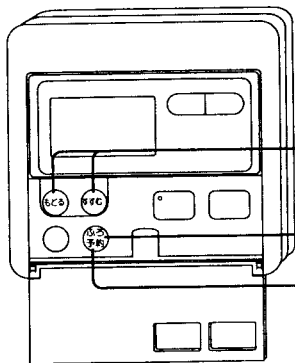


- お湯はり中に給湯栓を開けると →給湯温度はお湯はりの温度と同じになります。
- 給湯使用中にふろ自動スイッチを「入」にすると →お湯はりは待機します。
- 保温中は、約30分ごとに湯量を検知します。



お湯はり予約のしかた

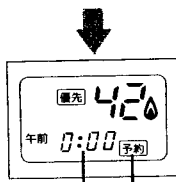
台所リモコン (台所リモコンがある場合)



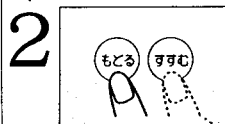
- 準備: ①お風呂の排水栓を閉じ、②浴そうのふたをして、
 ③現在時刻を合わせ (※15ページ)
 ④浴室リモコンでお風呂量、お風呂温度を設定しておいてください。
 (※18・19ページ)



押す

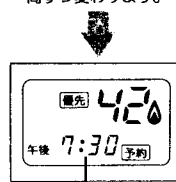


点滅 点滅



予約時刻を合わせる

- 押すごとに10分ずつ変わり、押し続けると1時間ずつ変わります。

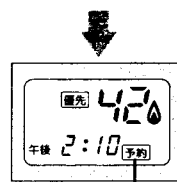


点滅

- 例、午後7時30分のとき

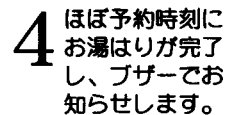


押す



点灯

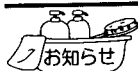
- 予約時刻が記憶され、約2秒後、現在時刻に戻ります。



ほぼ予約時刻にお湯はり完了し、プザーでお知らせします。

■ 取り消すとき

- 再度 を押す。
 (が消灯)



- お湯はり予約の待機中（お湯はり開始するまで）はふろ自動・追いだき・ぬるめスイッチは使えません。給湯は使えます。
- お湯はりを開始すると、優先表示は消えます。
- 各スイッチ操作の間隔は15秒以内に行なってください。
- 予約運転ではお湯はり後の保温はしません。



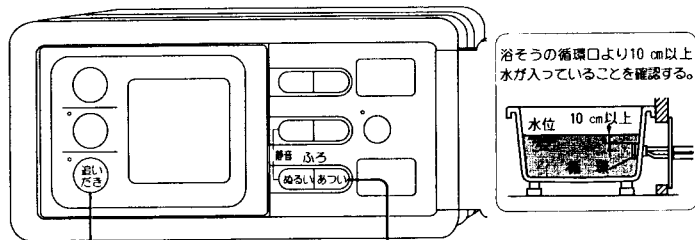
- お湯はり予約の待機中に予約時刻を確認するとき
 → を2回押しして予約時刻を確認し、再度 を1回押す。
- お湯はり予約をしていない時に予約時刻を確認するとき
 → を1回押しして予約時刻を確認し、再度 を2回押す。
- 2回目以降は → 手順1と3のみで予約できます。

すぐ
使いたいとき



お風呂の湯かげん調節

お風呂のお湯を熱くしたいとき（追いだき）

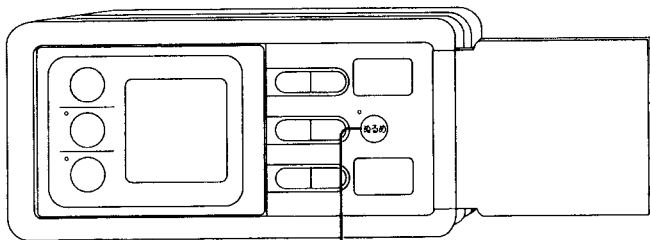


1 押す (ランプ点灯)
→ 設定温度より2℃高くなると自動的に消火します。

2 (温度を変更したいとき) 温度を設定する

■ 途中で消火したいとき
→ 再度 **追いだき** を押す。

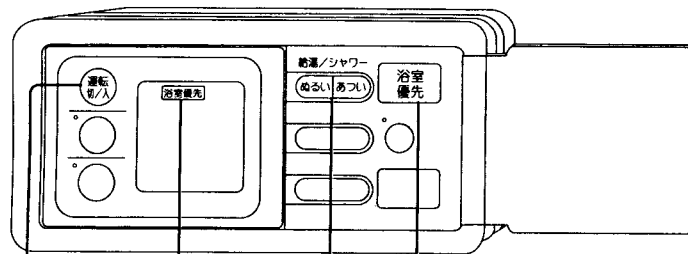
お風呂のお湯をぬるくしたいとき（ぬるめ）



1 押す (ランプ点灯)
→ 約10L水を足し、一旦燃焼して止まります。
(一旦燃焼するのは、機器内の湯温を保つためです。)

■ 途中で止めるとき → 再度 **ぬるめ** を押す。

シャワーの使いかた



1 押す
(画面が表示していることを確かめる。)

優先表示

2 押す
(浴室優先) 点灯を確認

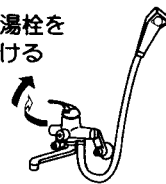
3 温度を設定する

お知らせ 優先について

優先表示のついている方のリモコンのみ、給湯/シャワー温度を設定できます。

- 優先表示が消えているときは
→ 浴室リモコンの浴室優先スイッチを押す。
- 浴室優先スイッチは
→ 押すごとに「優先」が台所リモコンと浴室リモコンへ交互に移動します。

4 給湯栓を開ける



お知らせ

- お湯はり中、給湯すると → お風呂と同じ温度の湯がでます。
- 給湯栓を絞らずに → 熱いお湯が出たり、消火することがあります。

すぐ
使いたいとき

暖房のしかた

エアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。

エアコンを使用の場合

●エアコンの操作は、それぞれの説明書に従ってください。

- 1 エアコンの
運転スイッチを入れる
● 水滴が点灯。
- 2 エアコンの
運転スイッチを切る
● 水滴が消灯。

【お知らせ】暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用の場合は、放熱器のバルブを開け、暖房スイッチを押してください。

暖房中の運転音が気になるとき…

- 1 同時に押す（2秒以上）



浴室リモコン

もしくは



台所リモコン

● **静音** が点灯
運転音を下げます。
(暖房能力は少し低下します。)

- 2 再度、
同時に押す（2秒以上）

● **静音** が消灯

日常の点検とお手入れ

「点検・お手入れ」は、必ず給水元栓とガス栓を閉め、電源プラグを抜いて（ブレーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行ってください。（定期的に行なってください。）

お手入れの方法

本体

布または、スポンジに台所用洗剤をつけてふきとる。



【お願い】ベンジン・シンナーなどは使用しない！

リモコン

水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとる。



【お願い】ベンジン・シンナー・洗剤などは使用しない！

浴そう・洗面台

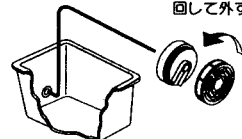
浴そう・洗面台はこまめに掃除してください。湯あがが残っていると銅イオンと化合して青く変色することがあります。

浴そうフィルター

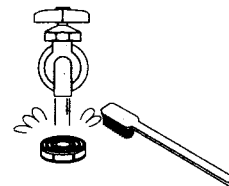
ゴミや湯あかなどをそのままにしておく目詰まりを起こし機器の異常の原因となります。

【目詰まりがひどくなると、お湯はりができなくなる場合があります。】

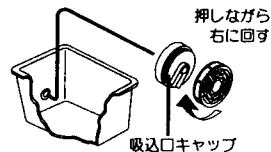
- 1 浴そうフィルターを外す
回して外す



- 2 歯ブラシなどで洗う



- 3 もとのように取り付ける



吸込口キャップ

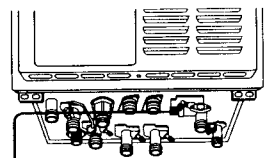
すぐ
使いたいとき



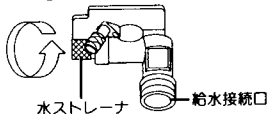
日常の点検とお手入れ

点検の方法

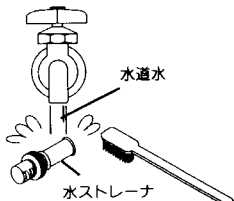
給水側水ストレーナ



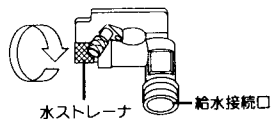
1 給水接続口にある水ストレーナをはずす



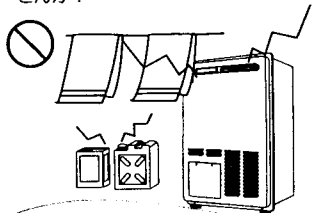
2 歯ブラシなどで洗う



3 もとのように取り付ける



- 熱源機の異常音は？
- 外観に異常は見られませんか？
- 周囲に燃えやすいものを置いていませんか？



定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 熱源機が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこりなどがつまったりします。また取り付け場所によりバーナーに「くも」が巣をはることがあり、ときどき使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなど）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

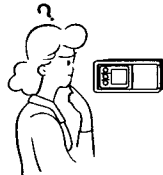
故障かな！？

故障と思う前に次の内容に従ってご確認いただき、それでも直らないときや原因のわからないときは、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

症状

ご確認ください

運転（燃焼）しない



- 電源プラグがしっかり差し込まれていますか。ブレーカが「入」になっていますか。
- ガス栓が全開になっていますか。
- 給水元栓が全開になっていますか。
- 断水していませんか。
- 凍結していませんか。（⇒34ページ）
- 停電していませんか。
- ガス配管に空気が残っていませんか。⇒点火操作をくり返す。
- 水ストレーナが詰まっていますか。（⇒26ページ）
- ガスメータに異常はありませんか。（マイコンメータをお使いの場合マイコンメータのランプが点滅していませんか。）

お湯があつくならない

- ガス栓が全開になっていますか。
- 湯と水の量（混合水栓）の調節は適切ですか。

低温の湯が出ない

- 給水元栓が全開になっていますか。
- 水ストレーナが詰まっていますか。（⇒26ページ）

リモコンの優先表示が点灯しない （台所リモコンがある場合）

- 浴室リモコンの優先スイッチを押し、優先表示の点灯を確認する。（⇒17・23ページ）

お風呂へのお湯はり量・温度が大きくばらつく



- 浴そうフィルターが目詰まりしていませんか。（⇒25ページ）

すぐ
使いたいとき

もし
必要なとき

故障かな！？

● 次のような場合は故障ではありません。

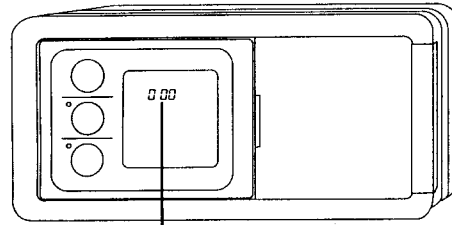
現象	理由
寒い日に排気口から湯気がでる	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる	水の中の空気が分離して気泡となるためです。
お湯はりしていないのに循環口から水が出る	お湯はりしていないときに、給湯栓の閉閉をひんばんに繰り返すと、循環口より水が出る場合がありますが異常ではありません。
給湯栓を急に閉めるとゴツンと音がすることがある	水が急にとまるために発生する音で異常ではありません。
暖房中、  がついたり消えたりする	お部屋の温度に応じて  がついたり消えたりします。
冬期、暖房を使っていないのに熱源機が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、一定温度以下に外気温が下がると熱源機が自動的に燃焼します。異常ではありません。
暖房を使っていないのにポンプ音がする	暖房回路にたまったエアを排出するための音であり異常ではありません。

異常時には安全装置が働きます

1 給湯バーナーの炎が消えた場合	給湯立消安全装置
2 暖房バーナーの炎が消えた場合	暖房立消安全装置
3 暖房回路の水が極端に減った場合	空だき防止装置(暖房)
4 空だきした場合	空だき安全装置(給湯・暖房)
5 熱源機の温度が異常に上昇した場合	過熱防止装置
6 電気回路に漏電が生じた場合	漏電安全装置
7 過電流が流れた場合	電流ヒューズ
8 熱源機内の水圧が異常に上昇した場合	過圧防止安全装置

上記1~7の安全装置が働いた場合

リモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。



エラーコード

エラーコードについて
不具合が生じたとき、その原因をエラーコードでお知らせします。

下記のエラーコードの表示に依じた処置を行ってください。それでも同じ表示が出る場合、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へご連絡ください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したため。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したため。	追いだしスイッチまたはふろ自動スイッチを押しておいてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたため。	
113	暖房側およびふろ側の点火エラーが生じたため。	ガス栓が全開であることを確認後、追いだしスイッチ(またはふろ自動スイッチ)を押しておいてください。(暖房の放熱器を使用している場合すべての放熱器の運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください)
723	暖房側およびふろ側の回路に異常がおきたため。	
412	お湯はり中に断水したため。	再通水後、ふろ自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
632	追いだし時浴そうの循環口より約10cm以上水が、入っていないため。	浴そうの循環口より約10cm以上水または湯を入れ、追いだしスイッチを「切」にし、再度「入」にしてください。
	お湯はり時、おふろの浴そうの栓をしていないため。	ふろ自動スイッチを「切」にし、浴そうの栓をしっかり閉め、再度「入」にしてください。
543	暖房用タンクに水が入っていない状態で、暖房・お湯はり・追いだし運転をしたため。	すべての水抜き栓が「閉」・補給水バルブが「開」(→35ページ)になっていることを確認し、電源を「切」にし、約30秒後再度「入」にしてください。
000 表示リ モコン がある 場合	停電したため。	再通電後、時刻を設定しなおしてください。
101	燃焼に異常がおきたため。	能力の低下した状態で使用できますが、安全のため必ず点検を受けてください。(有料)
991		ガス栓・給水元栓を閉め、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社へ連絡してください。

上記以外の表示が出る場合は、運転スイッチを一旦「切」にして再操作してください。

もし
必要なとき



こんなときは

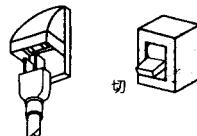
	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈再通水後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。 	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞16ページ)によりご使用ください。
ふろお湯はり	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後18ページに従ってください。 </div>	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●ふろ自動スイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞18ページ)によりご使用ください。
ふろ追いだき	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞22ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●追いだきスイッチを「切」にしてください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●エラーコード412が点滅します。その場合は、再通水後22ページに従ってください。 </div>	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●追いだきスイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞22ページ)によりご使用ください。
暖房	<p>〈停電時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 <p>〈再通電後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞24ページ)によりご使用ください。 	<p>〈断水時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●通常は、正常運転します。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は再通水後故障かな(☞29ページ)により再操作してください。 </div>	<p>〈供給停止時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転は、停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 <p>〈供給再開後〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使いかた(☞24ページ)によりご使用ください。

凍結予防について

通常は自動保温します
(外気温0〜-10℃で無風するとき)

給湯・ふろ側


- 運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防ヒーターが入ります。





絶対に電源プラグを抜いたり、ブレーカを「切」にしないでください。

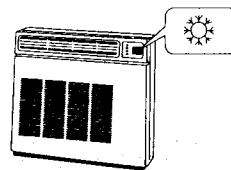
暖房側

- 外気温が0℃近くになると

自動的に凍結予防運転します。
(リモコンの暖房燃烧表示「」が点灯)

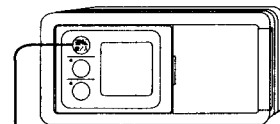
- さらに寒さが厳しいときは

「」のある放熱器は運転スイッチを「」にする。



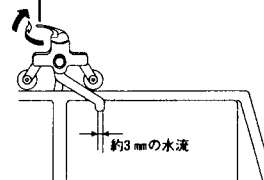
給湯栓から水を出す
(冷え込みが厳しいとき)

給湯側



1 運転スイッチを切る

2 給湯栓を開け、水を出しつづける



※浴そうに水はためないでください。

※電源を「切」にしないでください。(凍結予防ヒーターによる自動保温も行なっておりません。)

ふろ・暖房側

左記の説明と同じです。

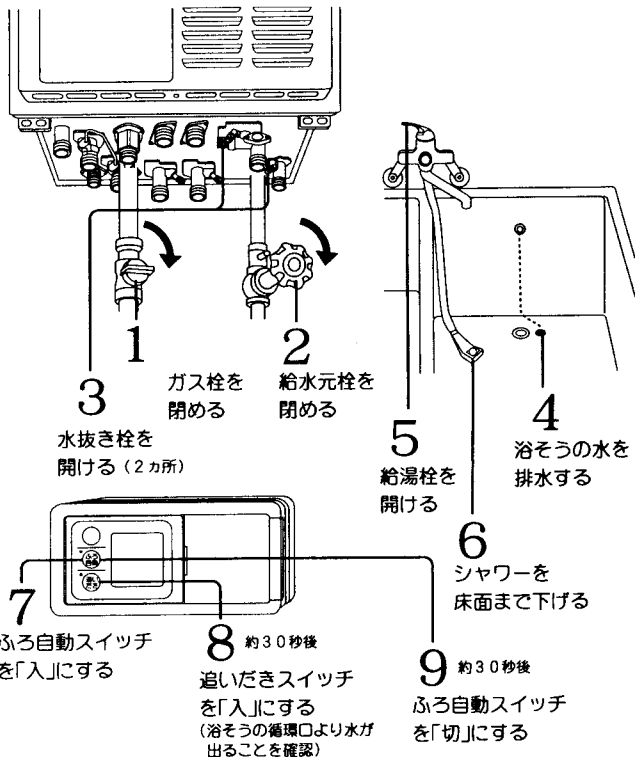
もし
必要なとき

凍結予防について

水抜きをする (旅行など、長期不在のとき)

給湯・ふろ側

※配管・バルブの凍結予防はできません。
 ※エラーコードの表示が出ることがあります。異常ではありません。
 ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。



※7,8を2~3回繰り返す。 ※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

水抜きをする (旅行など、長期不在のとき)

温水側

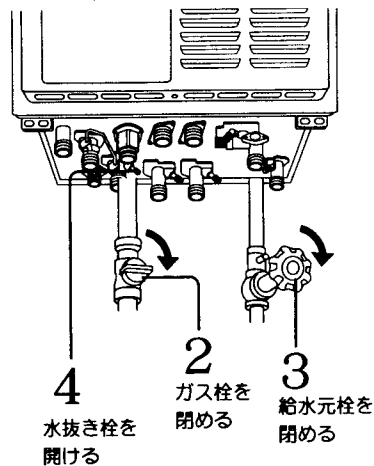
※不凍液の有無を確認してください。
 ※給湯・ふろ側は必ず、水抜きしてください。
 ※配管・バルブの凍結予防はできません。
 ※水抜き栓を開ける際、水が出てくるため手がぬれる恐れがあります。

〔不凍液が入っている場合〕 ❶ 水抜きの必要はありません。

〔不凍液が入っていない場合〕 ❷ 水抜きをしてください。

- ※1. 放熱器や配管・バルブの凍結予防はできません。
- ※2. 不凍液注入の有無はフロントカバーのラベルで識別できます。

1 電源プラグを抜く または ブレーカを「切」にする



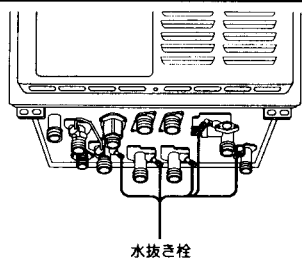
※水抜き後、水抜き栓を外したままにしない。

もし
必要なとき



凍結予防について

水抜き後の再使用のとき



1 水抜き栓を閉める

※以下の手順は14ページの「初めてお使いになるとき」に従ってお使いください。

2 給水元栓を全開にする

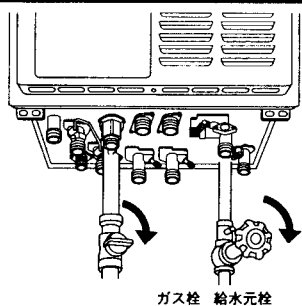
3 給湯栓を開け、水を出し、閉める

4 ガス栓を全開にする

5 電源プラグを差し込むまたはブレーカを「入」にする

6 ふろ自動スイッチを押し、湯を出す。再度ふろ自動スイッチを押し、湯を止める。

凍結して水が出ないとき



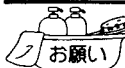
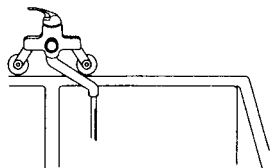
1 ガス栓を閉める

2 給水元栓を閉める

3 運転スイッチを切る

4 給湯栓を開ける

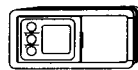
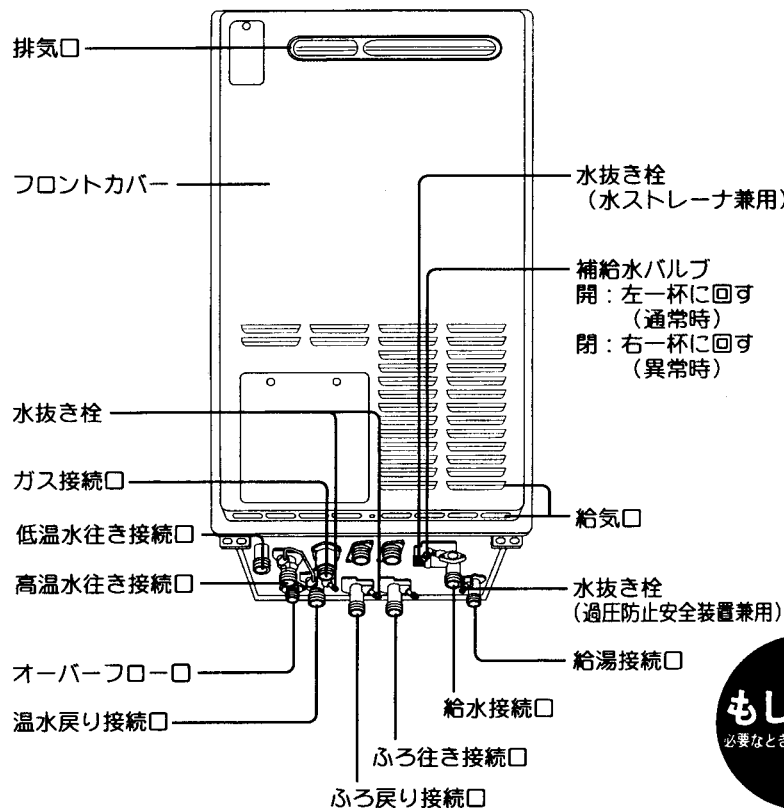
5 ときどき給水元栓を開け水が出ることを確認する



●凍結による修理は有料です。

各部のなまえ 本体

※イラストはAT-368RSA-SWQの場合で説明してあります。



浴室リモコン

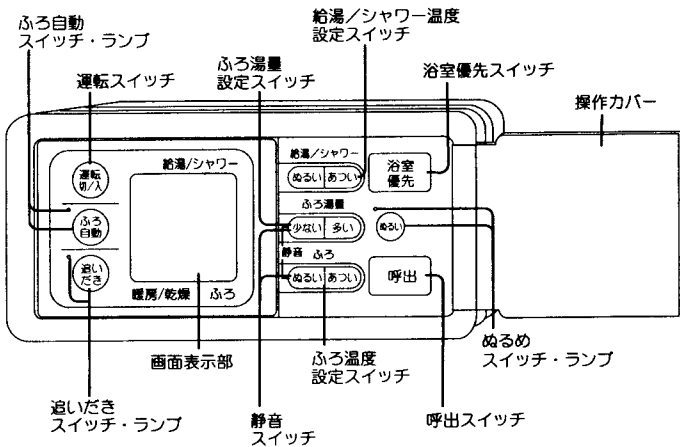


台所リモコン (ある場合)

もし
必要などき

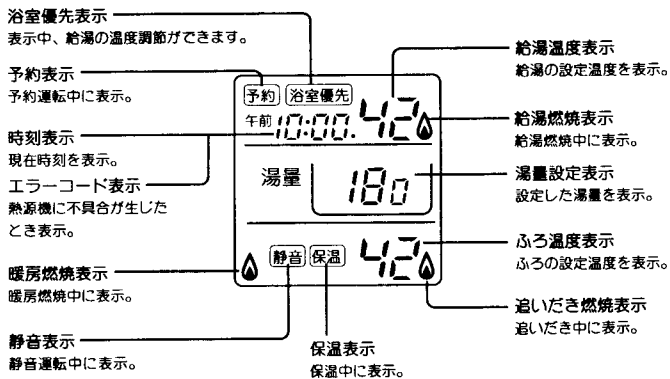
各部のなまえ

浴室リモコン



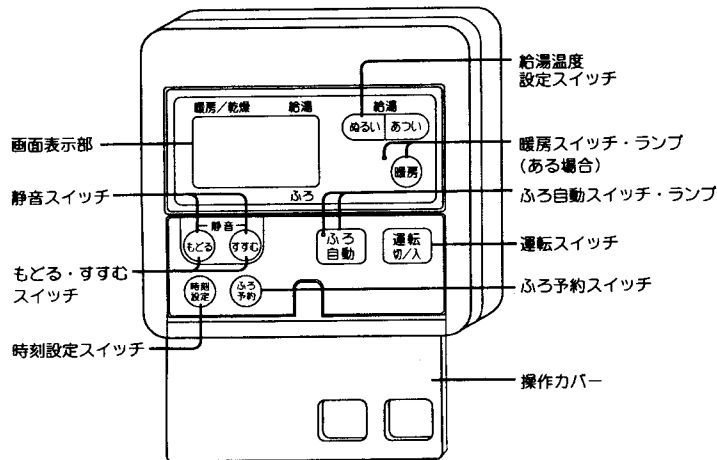
画面表示部

- 「給湯温度」「ふろ温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。



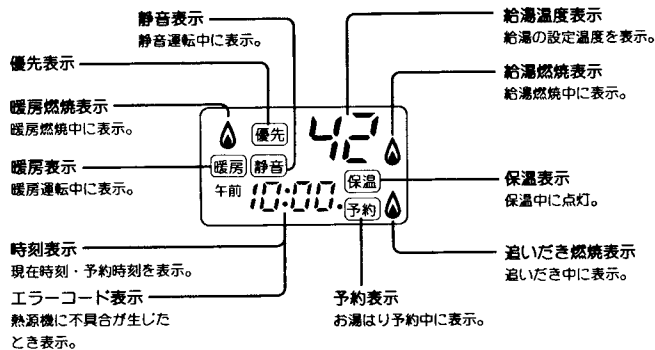
台所リモコン

(ある場合)



画面表示部

- 「給湯温度」の数値は目安です。
- 下記画面表示は説明のため全部表示したものです。



もし
必要とき

仕様

機種名		ガス給湯暖房機	
型式名	AT-368RSA-SWQ	AT-368RSA-SW5Q	
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
設置	給排気方式	強制排気方式	
	置方式	屋外設置方式	
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火	
外形寸法 (mm)	本体	高さ750×幅480×奥行250	
	浴室リモコン	高さ96×幅198×奥行20	
	台所リモコン(ある場合)	高さ120×幅128×奥行23	
質量 (kg)	本体	46	
	浴室リモコン	0.3	
	台所リモコン(ある場合)	0.2	
水圧 (kPa)	使用水圧	100 (1kg/cm ²)以上	
	動作水圧	15 (0.15kg/cm ²)	
最低 動作水量 (L/分)	給湯	2.8	
	暖房	0以上(締切り使用可)	
ポンプ 機外揚程	給湯	3.0	
	暖房	41.2/49.0kPa (4.2/5.0mH ₂ O) : 5.0L/分のとき	
温度 制御方式	給湯	高温39.2kPa (4.0mH ₂ O)/低温63.7kPa (6.5mH ₂ O):10.0L/分のとき	
	暖房	電子式ガス比例制御方式	
温度設定 (℃)	浴室	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
	リモコン給湯シャワー	約38~約47 (1℃階層) 約60	
給湯量 制御方式	リモコン給湯	約35~約50 (1℃階層)	
	リモコン給湯シャワー	約38~約47 (1℃階層) 約60	
安全装置	暖房	高温:約80 低温:約60 (55,65,70℃に切換可)	
	水量比例制御方式 (Q機能)	水量比例制御方式 (Q機能)	
消費電力 (50/60Hz) (W)	運転時	/310	
	運転停止時	10	
接続	凍結予防運転動作時(最大)	/260	
	ガス	R ₂ オネジ (20A)	
	給水・給湯	R ₂ オネジ (20A)	
	暖房高温往戻	G _{1/2} (20A)	
	暖房低温往戻	G _{1/2} (20A) 樹脂管用差込ジョイント	
	ふろ	G _{1/2} (20A)	
	オーバーフロー	R ₂ オネジ	
電気	本体電源 AC100V 50/60Hz 3心 (うち1心アース用) 浴室リモコン2心・台所リモコン2心		
B L 品番	AT-368RSA-SWQ	AT-368RSA-SW5Q	

使用ガス	1時間当たりのガス消費量 kW (kcal/h)				標準出力 kW (kcal/h)			
	使用ガスグループ	全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時		
			最大	最小		給湯	追いだし	暖房
都市ガス用	13A	69.5 (59 800)	52.3 (45 000)	5.70 (4 900)	17.4 (15 000)	41.9 (36 000) [24号]	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
	12A	64.7 (55 600)	48.7 (41 850)	5.35 (4 600)	16.3 (14 000)	38.8 (33 400) [22.3号]	8.72 (7 500)	12.9 (11 100)
LPGガス用		66.5 (4.75 kg/h)	51.1 (3.65 kg/h)	5.74 (0.41 kg/h)	16.7 (1.19 kg/h)	41.9 (36 000) [24号]	8.72 (7 500)	14.0 (12 000)
		都市ガス用13A・LPGガス			都市ガス用12A			
出湯能力 L/分		水温+25℃上昇		[24.0]		[22.3]		
(水圧:100 kPa)		水温+40℃上昇		15.0		13.9		

●出湯能力の〔 〕内は、混合水栓で湯と水を混合した計算値です。

もし
必要とき